

腹腔鏡下腎尿管全摘術を受けられる患者様へ

患者氏名 @PATIENTNAME 様(ID : @PATIENTID) 生年月日 : @PATIENTBIRTH_和暦 性別 : @PATIENTSEXN 説明日 : 説明者 :

	入院日	手術前日	手術当日		術後 1 日目	術後 2 日目	術後 3 日目～退院
			術前	術後			
食事	制限はありません 	医師の指示に基づき、手術前日の担当看護師が詳しく説明いたします 術後は、水分をいつもより多めに摂取（1.5～2.0 ℓ）するよう心掛けてください 食事； ____/____（朝・昼・夕）まで 水分； ____/____ 時 まで 飲水・食事 開始します				食事の制限はありません（医師の判断で変わることがあります）	
安静	制限はありません シャワー浴ができます（手術前日に臍処置と手術部位の除毛を行います）		病棟内でお過ごしください。病棟を離れる際はお知らせください	ベッド上安静です。 足にマッサージの器械が付きます	6 時ころにマッサージの器械が外れます はじめに歩く際には看護師が付き添います 看護師が体を拭く等の介助を行います		院内自由です 医師の許可が出ていればシャワー浴が可能です
検査	身長・体重を測ります 蓄尿を開始します	体温や血圧・脈拍を測定します 	起床時、手術室へ行く前に、体温や血圧・脈拍を測定します 	必要に応じて担当看護師が状態を観察に伺います。尿を出すための管が入ってきます 1 日目の朝には、採血があります		尿の管は術後 6 日目に、膀胱造影の検査をしてから抜けます。	
				摘出した腎臓側に体の中に血や浸出液が溜まらないように管が 2 つ入ってきます。		排尿量が減り性状に問題がなければ 医師の判断でお腹の管は抜けます	
内服	※お薬手帳とお薬を一度お預かりいたします。医師の指示を確認後、担当看護師が内服薬について説明をいたします		朝に浣腸をします	内服薬の再開時期については、医師の指示のもと、担当看護師が説明いたします 背中に痛み止めが持続的に投与される管が入ってきます。	※抗凝固剤を内服されている場合は、医師の指示に従ってください		
	15 時と 21 時に下剤を服用します（手術 2 日前は 21 時のみ）				背中中の痛み止めの管は中身がなくなり次第終了します。		
点滴	点滴はありません		手術当日の朝、医師が点滴を開始します 		点滴は継続します		点滴の終了時間については 担当看護師が説明します
その他	手術同意書をご持参下さい 必要物品の確認をします	17 時に手術時間が確定いたします。詳しいお時間を説明いたします	ご家族様は手術予定時間の 1 時間前には、ご来院ください 眼鏡、入れ歯、金属類（指輪・ネックレス等）は外してください T 字帯と手術着に着替えをします	手術終了後、主治医より、病状説明があります。ご家族様は手術終了まで、病棟ラウンジか病室でお待ちください。病棟を離れる際は、看護師にご連絡ください	手術後の痛みは我慢せずに看護師にお知らせください。鎮痛剤を使用することができます。鎮痛剤を使用して、早期離床を行うことが、手術後の合併症の予防につながります 尿の管を抜いた後は、排尿時に痛みを感じたり、血液が混入することがあります。排尿困難や我慢できない痛みがあれば、看護師へお知らせください		
	<必要物品> ・浴衣 1～2 枚・T 字帯 1～2 枚 ・ストロー・コップまたは吸い飲み 1 個 ・ティッシュ 1 箱						



状況に応じて予定が変更になる場合がございます。ご不明な点などありましたら、お気軽にお尋ねください。 東京歯科大学市川総合病院 泌尿器科 2021. 10. 01